

I 論文の要件

- (1) 原則、ワープロ書きに限る。
- (2) A4用紙、横書き（縦置き）、40字×36行/頁。
- (3) 分量は12頁以上20頁以下（題目・目次・図表・アンケート票等の付録類を含む）。
- (4) 日本語は明朝（全角）、英数字はTimes New Roman（半角）、共に10.5ポイントのフォントを用いること。
- (5) 論文は未発表作で、一人一作（共著の場合も含む）。

II 表紙

- (1) 表紙に記載することは
 - (a) 題目
 - (b) 目次（章のみ）
- (2) 審査は匿名で行うので、氏名・ゼミ名・学年は、表紙及び本文には記載せず、別紙に記入して添付すること。

III 章・節などのナンバリング

- (1) ナンバリングは以下に従うこと。
 - (a) ローマ数字 [I、II、III、……]
 - (b) 算用数字 [(1)、(2)、(3)、……]
 - (c) ローマ字 [(a)、(b)、(c)、……]

（例） I 変動相場制下の経営収支均衡と国際資本移動
 (1) 1970年代の経常収支不均衡と国際資本移動
 (a) 1970年代の経常収支不均衡

IV 脚注ならびに引用

- (1) 脚注の付け方
 - (a) 文章の右上に数字を振り、論文の最後に全てまとめ「文末脚注」とする。

（例）問題は、市外社会から市内社会に支払われるアクセスチャージによって解消している¹⁾。
 - (b) 脚注の数字の付け方は、算用数字1、2、3……に統一し、（注1）、（注2）、（注3）……等としない。
- (2) 引用の仕方
 - (a) 文献から文章等を引用する場合には必ず「」を付け、著者名・文献名・出版社・出版年・掲載頁数等を脚注等で必ず明記すること。文献を要約して引用する場合も同様とする。

(3) 引用した文献の記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992年、32頁）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号、頁）

（例）宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第72巻32号、30頁）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦）、頁）

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編、『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007年、81頁）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月（西暦））

（例）青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月）

V 参考文献

(1) 論文作成のために使用した文献は「参考文献」とする。「参考文献」は、論文・文末脚注の後にまとめる。

(2) 記載の仕方

(a) 書籍の場合

著者名『書籍名』（出版社名、刊行年（西暦））

（例）宮島洋『税のしくみ』（岩波書店、1992年）

(b) 雑誌に掲載された論文の場合

著者名「論文名」（『雑誌名』、巻・号）

（例）宮尾尊弘「価格破壊は日本を救うか」（『エコノミスト』、第72巻32号）

(c) 書籍に収録された論文の場合

著者名「論文名」（書籍の編者名・『書籍名』、出版社名、刊行年（西暦））

（例）上島康弘「第3章 格差社会を生むもの」（広田照幸・川西琢也編『こんなに役立つ数学入門－高校数学で解く社会問題』、2007年）

(d) Web ページの場合

著者名「タイトル」（URL、公表年月（西暦））

（例）青木浩治「国際経済学」（<http://www.eco.konan-u.ac.jp/home/gakkai/index.html>、2010年7月）

VI 図・表の記載

(1) 出典を必ず明記すること（製本の際、原典を印刷するため）。

(2) 必ず通し番号を付けること（表1、表2、図1、図2等）。

VIII 提出方法

原稿は3部印刷し、経済学会コモンルームに提出すること。同時に原稿の電子ファイルを添付したメールを経済学会コモンルーム（gakkai@konan-u.ac.jp）宛に送信すること。

*疑問点等がある場合には、経済学会コモンルーム（gakkai@konan-u.ac.jp;078-431-4341〔内線 3034〕）迄お問い合わせ下さい。